

常警日新新聞

定価 一部金五銭 二部金十銭 郵税五銭
廣告料 五銭以上 一頁一日 金五銭
日曜 祭日の日 休刊
発行所 常警日新新聞社
〒100 東京都千代田区千代田三丁目三番地
電話 六三三〇番
印刷所 常警日新印刷株式会社

剃 髮

三 泉 潤 三

訪れた主は、穂波村の作
右衛門が姑にありました。
負指をかけ、脚絆をつけ
た順禮の族姿でありました
「本堂へお通し申せ」
と和尚は奥の間から土間
へ向うて言ひつけるのでし
た。

「ふむ、あの糞塗が」
と、早起の寺男は雪掻を
片手に持つて獨言しながら
裏木戸の方へ消えて行きま
した。

「和尚さま、又出家したい
と申すの、座います」
と、本堂から戻つた方丈
は次の問に、かしこまるので
した。
「分つてゐる、それが常道
ぢやよ」
と奥の間で和尚の立ち上

鶏卵の黄
身が色の
悪い時に
はトマトの葉を乾して粉
末にして飼料にまぜてや
ると黄色くなる
る氣配です。
大戸のきしむ音がして次
第に本堂の隅々まで、外の
光が流れこんできた。

方丈が姑を導いて、白布
の敷のべられた上に坐をす
すめると姑はあず／＼と坐
りながらも消を残りつてゐる
須彌壇の灯をふいいで、と
めどなくはふり落つる涙を
拭はぶとじませんでした。
和尚は上壇に坐りました
まもなく讀經の聲が和尚の
體の何處がらとなく起つ
てまいりました。

灯影が揺れるたびに吊あげ
られたえうらくが揺れ動く
かと思はれるのでした。
やがて讀經が終つた和尚
は、姑の後に廻り立つて無
言のまゝ、その手に髮板を
捧げるのでした。
和尚は剃刀を取り上げま
した。

姑の髪は、麻を束ねたや
うでありましたが剃刀を持
つた手首は、その上をゆる
い山形を描いて、幾度か
後から前へとたどるのでし
た。本堂の内は水銀のてり
かへしのやうな灰色の光が
冷々と下を這つて居りまし
た。

方丈は板敷に跪いて、い
ましも又剃り落される白髪
の行衛を只ちつと、強めて
居るゝてした。姑の皺ふか
い眉根をはえて、ふりしく
白髪は髮板の上に消残る雪
のやうに汚れて積るのでし
た。そのたびに、銅のやう
な頭の肌地が少しづつ殖へ

で行くのは消すにも消され
ない悔恨のやうに思はれる
のでした。
和尚は剃刀を置きまじた
次に捧げてゐた髮板を、
しうとの手からうけとると
その手首に小さな珠数をか
けてやりました。
和尚はそのまゝだまつて
歩き出しました。

【朝】味噌汁一里芋
小付 やきのり
【晝】なすいり
【晚】すゐとん 若芽
方丈もその後に従ひまし
たが、渡り廊下へ出る所で
もう一度振りかへつて見ま
すと、しうとはうつむいた
まゝちつと坐つて居ました
そり上げられた頭がいま
は木立を洩れる本堂の格子
越しに射しこむ曙の光に熱
した柿のやうに艶やかに浮
んでゐるのを、方丈は何に
か自分の科のやうに思はれ
て、一瞬觸れてはならない
ものにふれたやうに、ふい
と向き直ると、大戸を靜か
に締ぢたのでした。
本堂の軒先から、金色の
雫が落ちはじめました。
それから二刻餘り後であ

りました。
村人が、星川の雪と雪と
の間でその濡れ衣を死にゆ
だねてそぞいだ哀れな剃髮
姿のお小夜の亡骸を見出し
たのは。
そのしうとが懺悔の家出
をしたことを傳へたのは。
それをきいて獨りひそか
に身をふるはせたのは、あ
のうら若い方丈の良純であ
りました。（をばり）

看護婦急派 求めに應じ

平町南町
平看護婦會
電話三〇七

井坂醫院

平町 田町
電話五五九番

コロンビヤ 新製品 蓄音器

ポータブル 金貳十五圓
レコードは
コロンビヤ の平盆踊り
其他新譜澤山あります
平町五丁目(電一九五番)
金光堂時計店

株式 賣 買

合資 三 共 商 事
大町 電話三〇番

待望の天下堂いよく近日開店

女店員數名至急募集、學力尋高卒以上の者
十八才より二十二、三才迄、住込、通勤自由
給料十五圓(事務服支給)
申込締切九月七日迄
申込所平町三丁目 天 地 堂
電話五八九番

蓄音機専門店 天下堂

平町四丁目

清涼の小瀧へ!!

宿泊料	1.50 2.00 2.50
(御帶在は左記料金にて中食料をふくませます)	
日歸浴席料	.20
自炊料	.50—1.80
入湯料・室料	夜具料一切
料理一定食	.80 1.00 1.50
その他一品料理洋食	
湯	効 神痛・リウマチス・胃腸 病・痔疾・婦人病・逆上・中風・肥胖病 (内務省東京衛生試験所検定済)
諸設備	撞球臺・高級ラヂオ・大廣 間・讀書室・近代式浴場と洗面所・水 洗式便所・小動物園・タクシー部・御 子儀運動器具
名物	川魚料理(うなぎ・鯉) 蜂蜜羊かん

女中數名入用
常警線湯本驛 小瀧鑛泉
御旅館 瀧 の 湯
御自炊 電話 小名濱 103番

石炭一〇〇パーセント

サーヴキス

時節柄 値下げ!
ダンゼン
一等塊 正味五〇斤入一俵 金貳拾八錢
特塊同 金參拾五錢
品質が優良 デナケレバ 値段バカリ安くトモ結局
目方か正確 高イモノナリマズ
の此点け當店を絶対に御信用願ひます
◎市内は一俵より配達致します
電話三七番
阿部石炭商店

肅正運動の徹底程度?

追々立證される

たゞ心配なのは棄権の増加

燃烈を極めた肅正運動も去る卅一日を以つて言論運動の幕を閉じ愈々實際の取締りに入るのであるが今までの肅正運動がどれほど徹底したかはこれから効果を見せる譯である。官民總動員であれだけの運動をし市町村は市町村で肅正の申合せをする、神社に祈願宣誓をする、それで違反が元の通

選挙肅正宣傳に

児童が街道進出

湯本町小學校児童は選挙肅正宣傳のため卅日メガホンを持つて街頭に進出し向一隊は手に／＼選挙肅正と記した小旗をうち振つて町内をねり歩き町民の注意をひいたがこれは本縣小學校に率先した小學児童の肅正運動である

米價が

前回より

廿錢高値

農業倉庫入札

平農業倉庫の共同販賣は昨日午後二時から總數七百九俵の入札を執行した

秋の氣の忍び寄る

九月の曆

夏服が合着に代はる九月となつた、ひぐらしの聲も何時しか失せて早くも秋の氣はしのびよる、夏期休暇中の學校は久方振りだけふか

出廻減の

場合は休場

四倉商市場

四倉商市場の昨日取引は

同	四〇	一一、六六
草野	六二	一一、三六
鹿島	三一	一一、三八
大野	一六五	一一、六七
小川	六七	一一、五七

愈よ出廻最盛期に入り出荷千六百八貫の多數に及び相場は最高四圓二十八錢、最低三圓七十錢、朝三圓九十八錢を唱へた尙同市場は十月中旬頃迄繼續する筈であるが本年は目下の處前年に比し出廻數が三割方減少して居るので今後出廻高の少ない場合は一時休場する模様であると

風土に恵れ

小作爭議無し

本郡農村經濟生活の一面

最近頻發する農村不況が原因の小作爭議問題は一月から六月末日迄の縣農務課の發生調査に依ると殆ど全縣下に跨つて居るが本郡には

更生を誓ふ

聲明書を配布

好間村の經濟更生着手

既報好間村の經濟更生委員會は昨日午前九時から同村小學校に開會百五十三名から開始され、官廳の勤務時間には午前中からいよ／＼午後四時迄に延長するものもけふからである、農山村では收穫季に入つて實れる農作物や林産物將又名産梨等の豊饒に平和の氣を一層漲らし晩秋蠶の掃立てには豫想外の高價にさらされたに養蠶家を勵すの、此の月であ

青年學校査閲の

郡下日程が決定

郡下青年學校の本年度査閲は来る十一月、十二月中左の如き日程で行はれる

△第二區査閲官藤井中佐 十一月六日川前小川(川前校)同十七日永戸(渡邊校)同十八日三坂(上三坂校)△第五區査閲官黒石中佐、十二月六日湯本

磐炭水泳 斷然優勝

鑛山大會に

仙臺鑛山監督局主催東北六縣鑛山水泳大會は昨日豫定の午前九時より後れて零時三十分から開催、監督局から白井鑛政課長、渡邊技師其の他參加各鑛から多數臨席注視の裡に百米自由型で種目のトップを開始ビチ

張ち切れさうな健康體の緒顔に各炭鑛選手極度に緊張ぶりを見せて名譽の優勝を各種目に競つたが百米自由型を上山炭鑛に許したのみで磐城炭鑛選手が斷然他を壓し輝く優勝の榮冠を獲得した

中堅農民

現地講習

石城中堅農民講習會員百五十餘名は柴田技手引卒のもとに本月十五日午前

り神谷農事試験分場で現地講習を行ふ

ツバ競合の

大接戦

遂に夏井優勝

昨日の武術會本郡在郷軍人聯合分會主催の第八回武術大會は午前八時より平南雨天體操場(銃劍術)平第一講堂(軍刀術)神谷村東部射撃場(射撃)の三會場で開催されたが各分團必勝の意氣素晴しく白熱戦を演じて昨年度優勝の夏井分團と古河炭鑛分團とが同点となり鏢競合の接戦の末優勝旗は三度び夏井分團の獲得するところとなつた

牧場の補助金

川前村と桶賣組合では十年度馬牧野改良事業補助金四百六十圓を交付されることに決定

平各小學校

事務打合せ 小學校は明日午後一時より第三小學校で事務打合せを開き十月中の行事に關する件選舉肅正に關する件其の他に

配屬將校應召

大井川中佐、平商佐藤中尉の兩配屬將校は来る九日より三日間若松歩兵廿九聯隊で行はれる第二師團及び本縣主催の軍事指導召集に應召すると

新學期開始

「勉強の秋」に入る

「秋」に入る平町學

平署管内の全警官 社前に祈禱

震災記念日に 警察精神高揚

平署は昨日午前二時管内
巡査の非常召集を行ひ柴田
署長から震災記念に際して
の警察精神の強化と近く行
はれる縣議戦の訓示があり
終つて午前三時全署員は縣
社子鐵倉神社前に整列し
て嚴肅な黙禱を捧げた

太公望で賑ふ 昨一 日午前五時から平町丹後澤 舟遊會主催の懸賞太公望犬 會は煙火合圖で開催された が參會者約百名絶好の釣日 和で盛會を極めた

道路や堀迄肅正

非衛生的な行爲を取締る

昨今傳染病續發に鑑みて 役場が平署へ協力

平町では昨今傳染病續發の
傾向に鑑み公衆衛生の見地
から平署と協力町民の不道
徳から非衛生的な行爲を取
締ることとなりまづ第一歩
として道路を始め全町に通
じてゐる用水堀及下水溝へ
塵芥や不潔物を棄てること
を嚴禁し發見次第相當の處
罰をする筈である

躑躅のトンネル

鐵道に許可を督促

既報平町役場が松ヶ岡公園
鐵道線路に面した傾斜地に
躑躅六百五十本を移植する
計劃は豫てより東京鐵道局
に許可申請中であるが未だ
に許可に接せず躑躅の移植

大越校長全治 赤井
第二小學校長大越國治氏は

永らく眼疾で那山市今泉眼
科及び新潟醫學大眼科で加療
中であつたが此程全快卅一
日歸校した

身賣防止

資金貸出し 今後も繼續

平職業紹介所では去る一月
以來神谷村生れ鈴木と子
(三)を皮切りに現在に至る
まで二十三名を救済製糸工
場や女中等に斡旋就職せし
めて身賣防止の第一線に立
つてゐるが卅日も氣の毒な
二家庭に資金を貸出し悲境
から救つてゐる尙引續き融
通の上救済する方針である

柴警部補着任

既報
警部補に昇進平署司法主任
に榮轉の柴一氏は高田署
より本日午後二時五十分

青龍刀型の短刀

懷中して驛構内を徘徊

赤井村大字日和田登弟遠藤
勝美(三)は卅日午後九時頃
郡山驛構内を徘徊中舉動不
審で驛前派出所國安巡査に
取調べられた處懷中に青龍
刀型の短刀を所持し居り深
い事情あつて自殺する旨自
供したが郡山署に留置目下
取調中

将棋大會

平町に開く

石城將棋聯盟主催の秋季將
棋大會は来る十五日午前十
時より五丁目吉田屋で開催

明日の天気

今晩は南東の風
曇り明日は南西
の風天気よし

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
物語「母子の涙」志村末次
郎
後六、二五 夏期特別講座
全國神社巡り「宮崎神社」
宮司神尾清澄
後七、三〇 虫の聲と名作
平騷着列車で着任した

高坂消防改組 内郷 消防組第五部(高坂方面)は 從來警務員からの私設消防 隊であつたが昨日一日付を以 つて公設消防に改組され新 たに小頭安齊宣治氏外十五 の名消防手が増員されたの で部員は總數三十九名とな つた

改修事務所へ忍入 賊を働く小年三名

贓品を賣る最中に捕る

神谷村字上片寄農大原三郎
(二)假名外二名は昨日一日午
前十時頃平町五丁目片寄古
物店に至り萬年筆や書籍等
を賣らうとして居るのを通
り合した平署員が怪しみ本
署に引致取調ると三名は共
謀して去る卅一日午前三時
頃平津村暮内内地内夏井川
改修事務所出張所に忍入り技
手若竹信一氏の該品を窃取
した事判明他に梨泥棒其の
他の餘罪がある

新任將校挨拶

平商
配屬將校として去る十六日
赴任した砲兵中尉佐藤今朝
二郎氏の新任披露は今日二
日始業式に際し行はれた

濱谷曹長遺骨

夏井
村海岸地内に墜落殉職した
濱谷陸軍飛行學校航空兵特
務曹長濱谷憲二氏の遺骨は

偽名の洋服詐欺

山形縣田川郡念珠村生れ當
時石城郡江名町大字江名石
川吉松所有三光丸漁夫佐藤
菊次郎(三)は今春三月末頃

クの旅 鈴木秀桃、高橋
きよ、染子他
後九、三〇 時報 ニュー
ス 氣象通報 番組報告

明日の部

前六、三〇 速成フランス
語講座 丸山順太郎
前七、〇〇 一朝の修養「弘
法大師の生涯」富田敬純
前八、三〇 家庭講座
「屋外作法」高島米峰
後八、〇〇 五トキキー音楽
「ジョージ・ボワイート」九
三五年のスキヤンダルス
後九、〇〇 婦人の時間
「秋の抜毛に就て」田村一
借敗した

木賃宿で頓死

内郷
村大字綴字沼尻木賃宿二瀬
屋津津村谷卯太郎方へ卅一
日午後六時頃投宿した茨城
縣新治郡中渡一六八自稱
書家小松崎重作(三)は昨日
午前七時心臓摩痺を起し
て死亡したのを發見され平
署の瓜生部長が檢視した

郡内農事視察

田村
郡中堅農民講習生百餘名は
本月十二日自動車に分乗し
て來平郡農會役員の家内で
左記の如く本郡農事其他の
施設を視察する

水天宮の祭り

鍛冶
町鎮座水天宮宵祭は昨日一
日執行レコードコンサート等
の餘興があり夜店も賑やか
に折柄の霖雨にもめげず參
拜入で賑はつた

平町八幡神社

平一
泊(十三日)泉村志賀澤之
助、小谷濱水産試験場
神谷農事分場、石城郡農
會

